

# Quarterly Report

四半期活動レポート

2022年 01月 - 03月

2022

vol.6



Fukuoka Smart City Community

# CONTENTS

四半期活動レポート（2022年1月-3月）

- P. 01 > **Fukuoka Smart City Community**について
- P. 02 > **進捗のご報告**  
① 福岡みんなで防災プロジェクト第2弾「防災選」  
▶ プロジェクト概要
- P. 03 > ▶ 実施事項  
| 9つの「防災候補」  
| 投票用の「防災選」特設サイト
- P. 04 > | オンライン・オフラインでの告知  
▶ 結果進捗
- P. 05 > ② FUKUOKA SMART CITY AWARD  
大学生向けアイデアアワード(社会実装編)  
中学校向けオンライン授業について  
■ 背景 ■ 実施概要
- P. 06 > ■ 講義を受けて  
| 生徒の皆さんから
- P. 07 > ■ 担当教諭インタビュー
- P. 08 > **定例での活動について**  
▶ 全体会議(毎月1回)  
▶ 「プロジェクトF」



Fukuoka Smart City Community

## Fukuoka Smart City Community について

強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、レジリエンスの高いまちを実現する

「Fukuoka Smart City Community (以下 FSC)」は2020年10月、LINE Fukuoka株式会社を発起人とし、福岡を代表する異業種で協働、福岡市をオブザーバーに迎えた共同事業体として発足しました。この共同事業体を通して、福岡市を、行政・市民・企業の枠組みに捉われず、解決したい人・解決できる人が互いに協力し合って速やかに問題解決する、「日本で最も課題解決の早い、スマートシティ」へと変化させ、「100年先でも、選ばれるまち、Fukuoka」を目指しています。



※福岡市はオブザーバーとして参画

大テーマ	中テーマ	小テーマ※
市民と共に行う、 レジリエンスの高い まちづくり	感染症流行下での変化に しなやかに対応できるまち	● 飲食店支援（継続） ● 上記以外のテーマでの支援
	自然災害に素早く対応、 復興できるまち	自然災害への 事前・最中・事後対応

※その他、福岡市民の課題解決に資すること

福岡市を含む九州地域では、近年、地震や台風による災害被害が続いています。また、感染症の流行は、市民の行動や意識も大きく変えるきっかけとなりました。我々会員企業は、そうしたその時々が発生する市民の課題を、個々の企業や団体同士での協業以上にスピード感を持って解決することを目指し、共同事業体を通して各施策の検討と実施を進めています。

## 進捗のご報告

1

### 福岡みんなで防災プロジェクト第2弾「防災選」

#### ■福岡の防災アクションを決めるオンライン市民投票

#### ▶ プロジェクト概要

「防災選」は、FSCが取り組む防災課題をオンライン投票形式で決定する市民参加型のプロジェクトです。参加者は、FSCが特設サイトに提起する9つの防災課題「防災候補」の中から選んで投票を行います。FSCは、その中で最も多く票を集めた「防災候補」を注力課題とし、解決のための施策を2022年9月中に実装することを目指して取り組みます。市民の投票によってFSCの防災アクションをより市民のニーズを反映したものにするとともに、「防災候補」というかたちで課題を紹介することで、防災について考え、話し合い、ご自身やご家族の防災アクションを始めるきっかけをつくります。

#### 背景課題

- ▶ 災害が発生しても、時間の経過とともに意識が薄れてしまう
- ▶ 市民の声をそのままスピーディに防災施策に反映するのは容易な事ではない
- ▶ 平常時に防災に関するアクションを起こすのはハードルが高いと感じられがち



#### 解決の方向性

- 1 福岡市民防災の日(3月20日)の時期に合わせて「防災選」を実施する事で防災に意識を向けるきっかけを作る
- 2 市民目線で課題を用意し、最多得票数の課題に優先的に打ち手を打つ
- 3 「選ぶ」という手軽さや、関心を持ちやすいビジュアルイメージでハードルを下げる



▶ 実施事項

防災に関する困りごとを9つの「防災候補」として提示し、参加者は「防災選」特設サイトから自分が欲しいと思うものをワンクリックで簡単に投票することができます。

解決の方向性	「防災選」実施事項
<ol style="list-style-type: none"> <li><span style="background-color: #00AEEF; color: white; padding: 2px 5px;">1</span> 福岡市民防災の日(3月20日)の時期に合わせて「防災選」を実施する事で<b>防災に意識を向けるきっかけ</b>を作る</li> <li><span style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px 5px;">2</span> 市民目線で課題を用意し、<b>最多得票数の課題に優先的に打ち手</b>を打つ</li> <li><span style="background-color: #00AEEF; color: white; padding: 2px 5px;">3</span> 「選ぶ」という手軽さや、関心を持ちやすいビジュアルイメージで<b>ハードルを下げる</b></li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民目線で検討した課題<b>「防災候補」</b>を9つ用意</li> <li><b>「防災選」特設サイト</b>を設置し、簡単に参加できるオンライン市民投票を実施</li> <li>FSC会員企業が持つオンライン・オフライン計<b>40</b>以上の媒体から告知</li> </ul>

9つの「防災候補」

誰もが何らかの共感を得られるように、学校や会社や避難所など固定化された場の防災だけでなく、暮らしの様々なシーンでの具体的な災害時の困りごとを「防災候補」としてあげました。

<p>01</p> <p>あれ、ボクのこはんは?</p> <p>「ペット防災」</p> <p>投票する</p>	<p>02</p> <p>決めごさやよかった集合場所</p> <p>「会話で防災」</p> <p>投票する</p>	<p>03</p> <p>あっ期限切れ</p> <p>「グルメ防災」</p> <p>投票する</p>	<p>04</p> <p>思い出が逃げ遅れた</p> <p>「宝もの防災」</p> <p>投票する</p>	<p>05</p> <p>例年は10分程度の帰宅時間</p> <p>我こそはヒーローの帰宅困難者</p> <p>「帰るまで防災」</p> <p>投票する</p>
<p>06</p> <p>ソレ被災願われる者は自分のみ</p> <p>「一人暮らし防災」</p> <p>投票する</p>	<p>07</p> <p>逃げると言われましてもどこへ?</p> <p>「観光防災」</p> <p>投票する</p>	<p>08</p> <p>両手には小さな子ども。背中には3人分の荷物。</p> <p>「子ども防災」</p> <p>投票する</p>	<p>09</p> <p>ウチからは避難所なん分? 駅徒歩3分。</p> <p>「家選び防災」</p> <p>投票する</p>	

投票用の「防災選」特設サイト

スマートフォンなどで簡単に参加可能な投票用の特設サイト。周りの人との会話のきっかけになるよう、関心を持ちやすいビジュアルイメージにしています。

<参加方法>



## オンライン・オフラインでの告知

投票期間中には、FSC会員企業全社(9社\*)が持つオンライン・オフライン合わせて40以上の媒体から告知を実施しました。\*2022年3月時点

駅や空港、商業施設、SNS・LINE公式アカウントなど計**40**以上の媒体から「防災選」を告知



▲(上段左から順)LINE Fukuokaオフィス / 西鉄電車車内 / キャナルシティ博多 / 福岡銀行LINE公式アカウント  
(下段左から順) 東急ハンズ博多店 / JR博多駅 / 福岡国際空港 / 西鉄電車(西鉄福岡(天神)駅)ホーム / グッテイ太宰府店 / 西日本シティ銀行公式Twitterアカウント ※告知内容の一部です。

## ▶ 結果進捗

たくさんの方に参加いただき、総投票数は実に1万票以上に達しました。

最終結果および続報については次回のレポートでお知らせします。

総投票数  
**10,751**  
票

投票サイト  
**28,000**  
PV以上

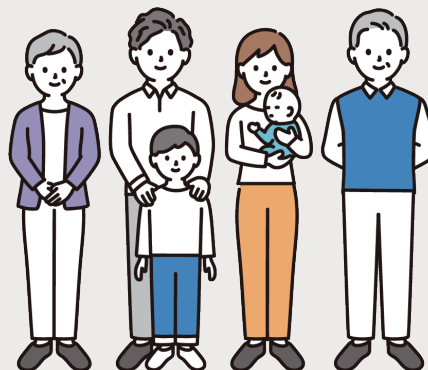
SNS上で  
企画に賛同・関心を  
寄せる声多数!

### < SNS上での反応 >

●●防災に投票しました!

半年後のアクション開始が楽しみ!

各地域の課題をみんなで話し合っ対策したい



## 2 FUKUOKA SMART CITY AWARD 大学生向けアイデアアワード(社会実装編)

FSCでは、昨年秋に開催した大学生向けアイデアアワード「FUKUOKA SMARTCITY AWARD」にてグランプリを受賞したチーム(あなた×エシカル消費)の活動を継続してサポートしています。2022年2月21日・22日には、SDGs(環境)をテーマに、「できることから、できる人から～化粧品から考える環境のこと～」というタイトルで中学生向けに講義(欄外参照)を行いました。



▲(左から順に)藤井 岬さん/長野 愛子さん

<p>できることから できる人から 化粧品から考える環境のこと</p> <p>Und glück</p>	<p>今日のゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ものを大切にすることの大切さを知ろう</li> <li>• 自分自身が環境に対してできることを増やそう</li> </ul>	<p>プラスチック容器のシャンプーは どのように分別して捨てる??</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中身は、そのまま燃えるゴミ</li> <li>2. 中身は、そのままプラスチックゴミ</li> <li>3. 中身を、布に出してプラスチックゴミ</li> <li>4. 中身を、洗面所に流してプラスチックゴミ</li> </ol>	<p>4 私たちができることって何だろう? 4R</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 リデュース</li> <li>2 リユース</li> <li>3 リユース</li> <li>4 リサイクル</li> </ol> <p>できることを、できるひとから始めていきましょう!! まずは「知る」ことから始めてみませんか?!</p>
--	---	---	--

▲講義資料(一部)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、オンラインで実施した今回の講義では、チャットで参加できるクイズなどを取り入れた対話形式を進めることで、生徒の皆さんも積極的に楽しみながら参加されている様子でした。

### 中学校向けオンライン授業について



▲北九州市立篠崎中学校

北九州市立篠崎中学校から依頼を受け、2022年2月21日・22日に、中学2年生の生徒約160名に向けて、オンラインで講義を実施しました。

#### ■ 背景

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて一度も校外学習などを経験しないまま進路選択の時期に差し掛かっている中学2年生(当時)に対して、「SDGsやSociety5.0というテーマを通して、福岡の街や暮らしが変化する様子を直に学ぶ機会を設けたい」「実際に福岡の街のために働く人の話を聞くことで前向きに進路選択やキャリアイメージを持って欲しい」とのご要望をいただき、今回の講義を実施することとなりました。

#### ■ 実施概要

「福岡の暮らしの中のSociety5.0」「福岡の暮らしの中のSDGs」の2本立てで講義を実施しました。話者は、LINE Fukuoka株式会社、株式会社福岡銀行、FSCアワードのグランプリチーム(前述)の3者で、全員が別拠点からオンライン参加し、タブレットで参加する生徒たちと一堂に会しました。

#### もくじ

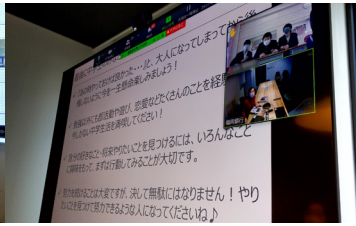
- [1] Fukuoka Smart City Communityについて
- [2] 福岡の暮らしの中のSociety5.0  
- Society5.0 × 顧客 (福岡銀行)  
- Society5.0 × 市民 (福岡市)  
- Society5.0 × 社員 (LINE Fukuoka)  
- Society5.0 × その他のFSC会員企業
- [3] 福岡の暮らしの中のSDGs

▲ 講義のプログラム内容

中学校向けオンライン授業について



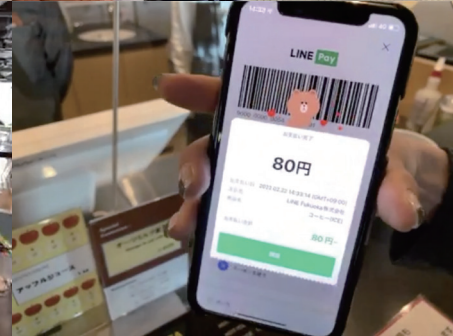
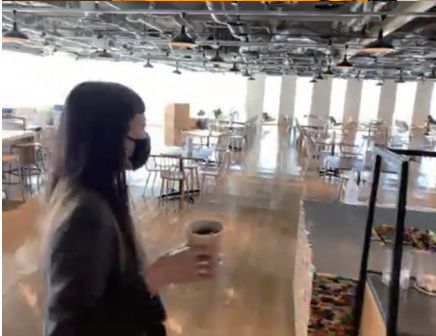
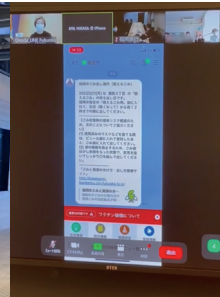
▲株式会社福岡銀行のオフィスから講義を行う担当者



▲FSCアワードグランプリチーム



▲LINE Fukuoka株式会社のオフィスから講義を行う担当者



■ 講義を受けて

■ 生徒の皆さんから

LINE福岡さんのスマホの機能を使って銀行とつながったり、市内の設備をなおしたりできることにとても驚いた。さらに、コロナ禍での飲食店を支援するために会社のお弁当を飲食店から輸送してもらうなど地域のものも支援していることを知り、いろいろな人と支えあうのは未来の街ができていていると感じた。

すごく近未来な会社だと思った。無駄なルールもないし、将来こういう所で働きたいと思った。そのために、将来出来ることを選択肢をふやすために、今のうちから勉強を頑張ろうと思った。

グラフや表を貼ってそれを見せながらの説明やその場をカメラに写して私たちにzoomを通して見せることによって実際にその場にいるような臨場感があり、オンラインをフルに活用してとても飽きないし分かりやすかったです。LINE Payに給料の一部が支払われるのは社内でも活用できて便利だと思いました。

環境問題については、会社の方が考えたものだと思っていたけど、大学生が考えていて、すごいなと思いました。

今回のオンライン研修で一番印象に残ったことは環境問題のことです。自分はごみの分別や最後まで使いきるなどのことを意識して生活しています。今世界中で問題になっているのでこれからも続けていきたいです。そして地球をきれいにしていきたいです。

オンライン研修を振り返って、福岡銀行などの企業の仕事や、もっと多くの人に、仕事を知ってもらうために、YouTubeやTwitterなどで動画を配信していることに対してすごいと思った。今度YouTubeでいろんな企業の動画を見ようと思った。また、福岡市のLINEのアカウントで市内の道路の状態で、ガードレールなどの損傷のときにすぐに福岡市にこのことを知らせることができるのはすごいと思った。北九市にもこのようなアカウントがあるのか、疑問に思った。

▲事後アンケート（一部抜粋）





## 中学校向けオンライン授業について

## ■ 担当教諭インタビュー



◀北九州市立 篠崎中学校  
教諭 井上先生  
(2022年2月時点)

## — FSCに講義を依頼した背景を教えてください

「2021年に導入された新学習指導要領を受けて、学校教育に求められることも大きく変化しました。篠崎中学校でも、キャリア教育に力を入れています。現場ではどうしても学力を上げることが注視されがちではあるのですが、生徒には「学ぶこと」そのものの大切さを理解し、学校に来るモチベーションを上げて欲しいと願っています。そしてそのためには、自分たちが暮らす街や社会が変化している様子を、実際にそれをリードしている方々から直接学ぶ機会を設けるべきだと考え、お声かけさせていただきました。」

## — 実際に講義を受けてみてどうでしたか？

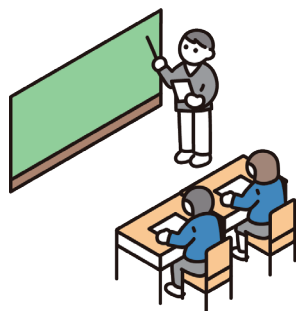
「(福岡市LINE公式アカウントの)デモンストレーションやオフィスからの実況中継など、座学に留まらない工夫のおかげで、最後まで生徒の集中力が途切れることなく受講することができました。実は生徒のタブレットと校外の方をオンラインで繋げて授業を行うのは今回が初めての試みでした。しかし我々教員が事前に想像していたよりもずっと自然に、生徒たちがチャット機能などを用いて積極的に授業に参加していて、頼もしい限りでした。」

## — 講義の前後で変わったことはありますか？

「生徒の進路に向き合う姿勢が変わりました。  
また社会の動きや世の中の変化に以前より敏感になった印象を受けます。  
この前も「こんなニュースを見たよ」と話しかけてくれました。  
意識がいろんな方面に向かうようになっており嬉しく思っています。」

## — 今後の抱負をお聞かせください

「教員自身も、学校以外の社会にもっと積極的に目を向けていく必要性を強く感じています。  
未来を担う生徒たちが、学校の枠組みの中だけではなく社会に適応し活躍できる資質を育めるよう、今後もこのような学習をリードしていきたいと考えています。」




---

FSCでは、今後も街を構成する

---

様々な方々と密に連携して

---

地域の課題と向き合っていきます。

---

## 定例での活動について



※写真はイメージです

### ▶全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

1~3月期には以下の日程にて実施しました。

● 1月6日(木) ● 2月3日(木) ● 3月3日(木)

### ▶「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで見聞を共有するプロジェクト。テーマは各社自由。

1~3月期には以下の企業が発表を行いました。

- 1月:九州旅客鉄道株式会社「コロナ禍の概況と最近のトピック」
- 2月:西日本鉄道株式会社「2021年度第2四半期決算概要と知られざるにしてつ」
- 3月:株式会社福岡銀行「SNSマーケティング」

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、レジリエンスの高いまちづくりを行ってまいります。

#### 〈Fukuoka Smart City Community 概要〉

名称/Fukuoka Smart City Community

事務局所在地/福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日/2020年10月14日

主な事業内容/市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト/<https://fukuoka.smartcity-community.jp>